USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

HD30LV

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのOptoma HD30LVの交換用ランプは、現在入手可能です。



Optoma HD30LVプロジェクターランプ

部品番号：4K400x / BL-FU240K
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

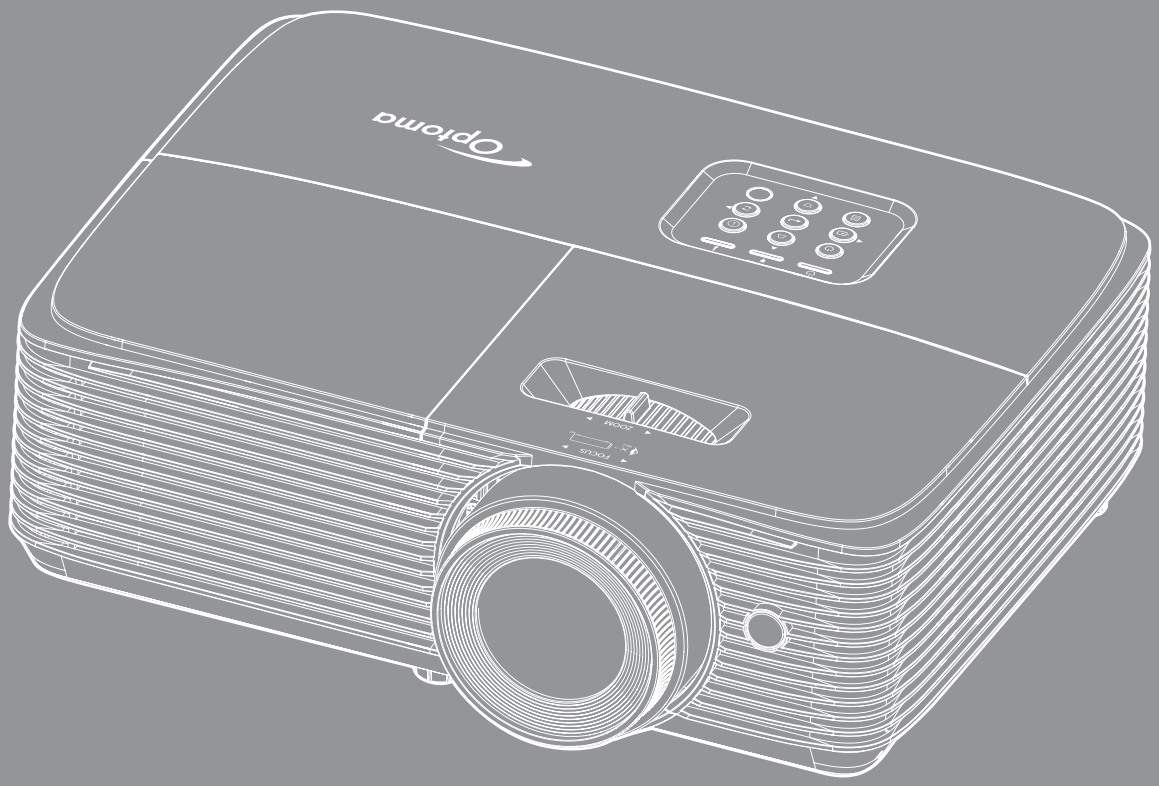
21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Optoma/HD30LV.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

4K COMPATIBLE
Full 3D 1080p
DLP TEXAS INSTRUMENTS
HDR COMPATIBLE
HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
レンズの清掃 5
3D 安全情報 6
著作権 7
免責条項 7
商標認識 7
FCC 7
EU諸国への適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリ 9
オプションのアクセサリ 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 13
リモコン 1 14
リモコン 2 15

設定と設置 16

プロジェクターを設置する 16
ソースをプロジェクターに接続する 18
投射画像の調整 20

プロジェクターを使用する 24

プロジェクターの電源を入れる/切る 24
入力ソースを選択する 25
メニューナビゲーションと機能 26
OSD メニューツリー 28
表示画像設定メニュー 35
エンハンストゲームメニューの表示 37
ディスプレーの 3D メニュー 37
アスペクト比メニューの表示 38
表示エッジマスクメニュー 39
表示ズームメニュー 39
表示画像シフトメニュー 39
表示キーストンメニュー 40
オーディオミュートメニュー 40
オーディオボリュームメニュー 40
投影設定メニュー 41
ランプ設定メニュー 41

フィルタ設定メニュー 41
電源設定メニュー 41
セキュリティ設定メニュー 42
HDMI Link 設定メニューの設定 43
テストパターンメニューの設定 43
リモート設定メニュー 43
オプション設定メニュー 44
リセットメニューの設定 45
ネットワーク LAN メニュー 46
設定のネットワーク : コントロール設定メニュー 48
情報メニュー 53

保守管理 54

ランプの交換 (メンテナンス要員のみ) 54
ダストフィルターの取り付けと洗浄 56

追加情報 57

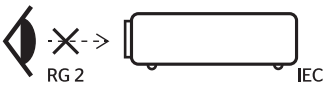
対応解像度 57
イメージサイズと投射距離 60
プロジェクターの寸法と天井取り付け 61
IR リモコン 1 のコード 62
IR リモコン 2 のコード 64
トラブルシューティング 66
警告インジケータ 68
仕様 70
Optoma 社グローバルオフィス 71

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全に関するご注意



- 光線を目に入れないでください (RG2)。
  あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5°C ～ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。

- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の [ランプリセット] にある [セットアップ ランプ設定] 機能を使用してリセットします。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、[ランプ寿命が過ぎています] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記: *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。*

- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクトー内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2021

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

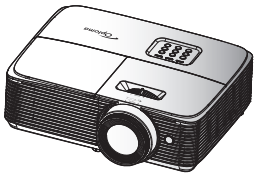
はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

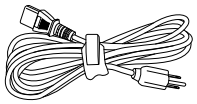
標準アクセサリ



プロジェクター



リモコン



電源ケーブル

☑ 保証書 *

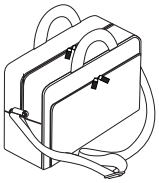
☑ クイックスタートユーザーマニュアル

文書

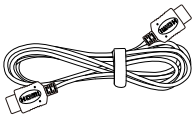
注記:

- *リモコンは電池と共に出荷されます。*
- ** 欧州の保証情報については、www.optomaeurope.com にアクセスしてください。*

オプションのアクセサリ



キャリーバッグ



HDMI ケーブル

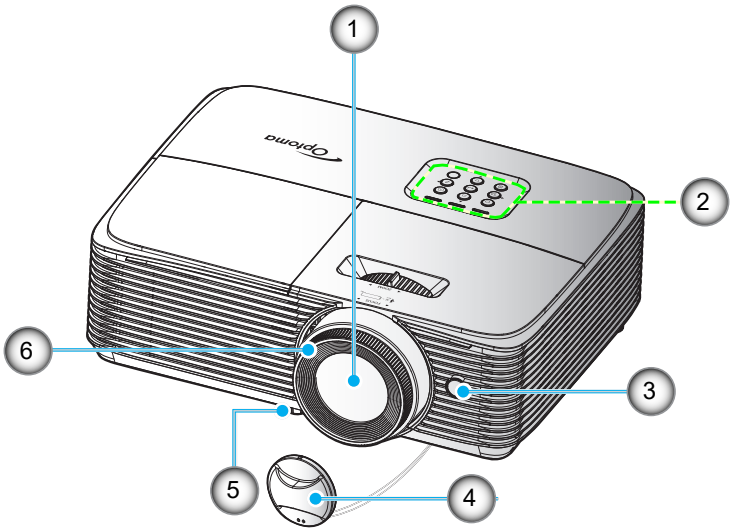


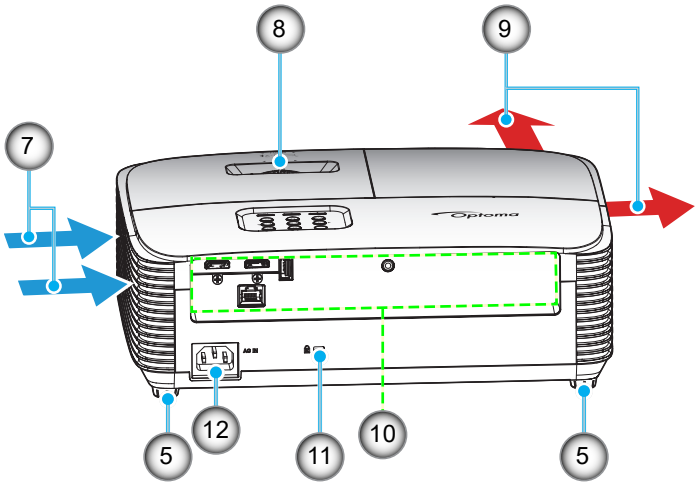
レンズキャップ

注記: *オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。*

はじめに

製品の各部名称





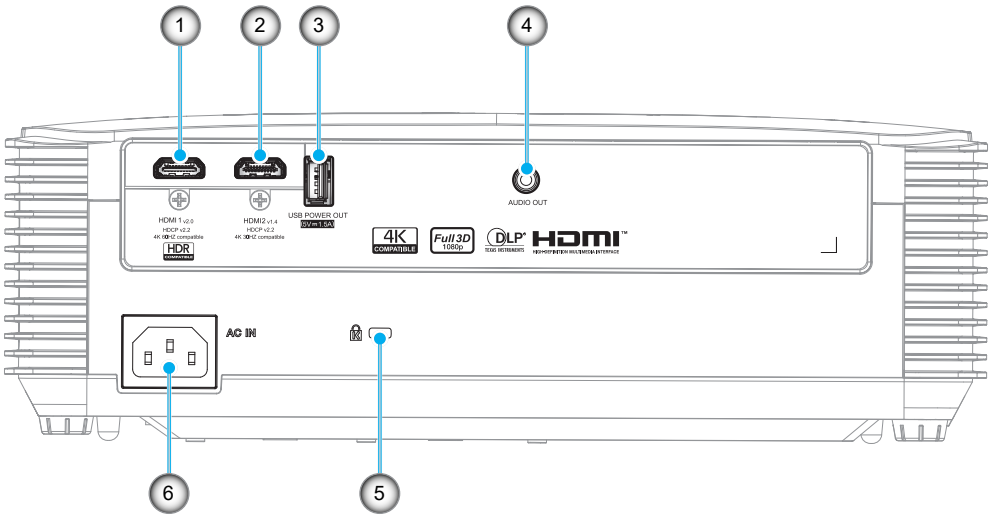
注記: *「吸気口」ラベルと「排気口」ラベルの間を少なくとも 20 cm 空けてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	レンズ	7.	換気 (吸気口)
2.	キーパッド	8.	ズームレバー
3.	IR レシーバー	9.	換気 (排気口)
4.	レンズキャップ	10.	入/出力
5.	チルト調整フット	11.	Kensington™ ロック ポート
6.	フォーカス リング	12.	電源ソケット

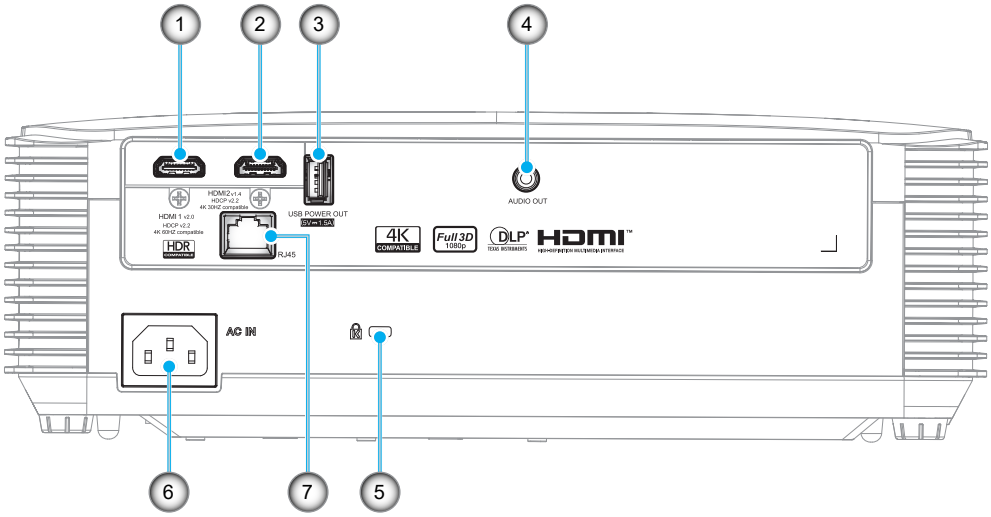
はじめに

接続

タイプ 1 (4 I/O)



タイプ 2 (5 I/O)



はじめに

番号	項目	タイプ 1 (4 I/O)	タイプ 2 (5 I/O)
1.	HDMI 1 端子	√	√
2.	HDMI 2 端子	√	√
3.	USB パワー出力 (5V⎓1.5A) / サービス / マウスコネクタ	√	√
4.	オーディオ出力端子	√	√
5.	Kensington™ ロック ポート	√	√
6.	電源ソケット	√	√
7.	RJ-45 端子	該当なし	√
注記:	*「√」はこれら品目に対応していることを指し、「該当なし」はこれらの品目が利用できないことを意味します。*		

注記:

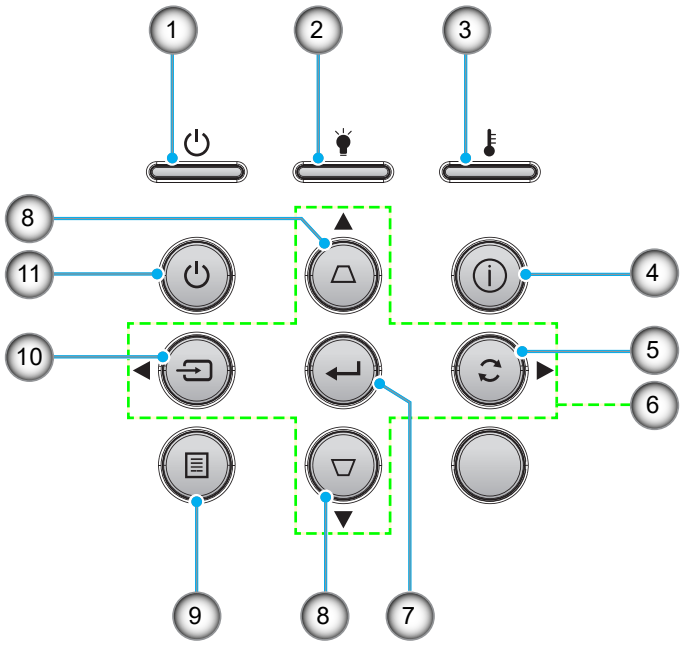
- *リモートマウスには特別なリモコンが必要です。*
- *最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。*
- *I/O は購入したプロジェクターにより異なります。実際の製品を確認して、ご参照ください。*

  ** HDMI1 は、4K 60HZ および HDR をサポートします*

  ** HDMI2 は、4K 30HZ をサポートし、HDR をサポートしません*

はじめに

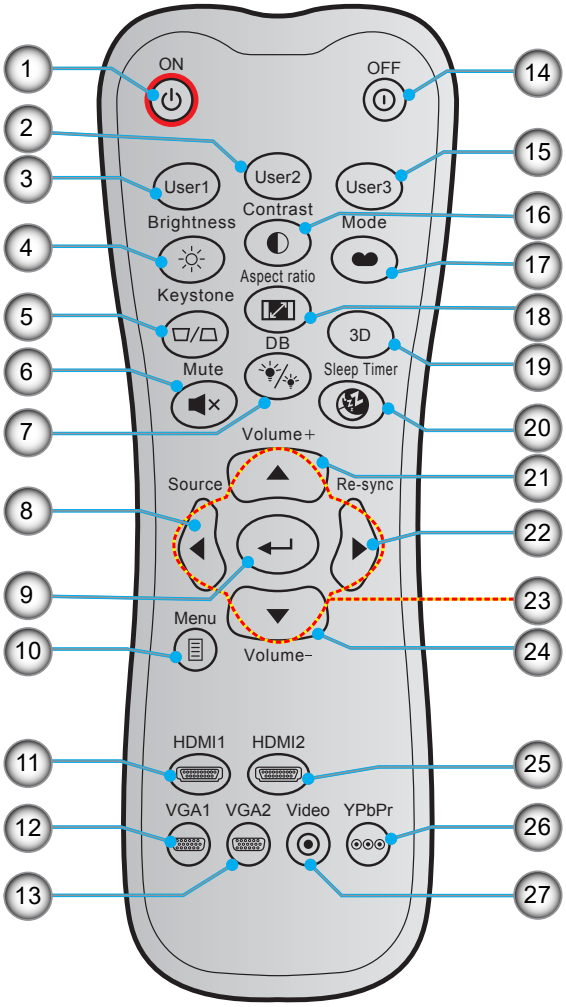
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	オン/スタンバイ LED	7.	入力
2.	ランプ LED	8.	キーストーン補正
3.	温度 LED	9.	メニュー
4.	情報	10.	ソース
5.	再同期	11.	電源
6.	4 方向選択キー		

はじめに

リモコン 1



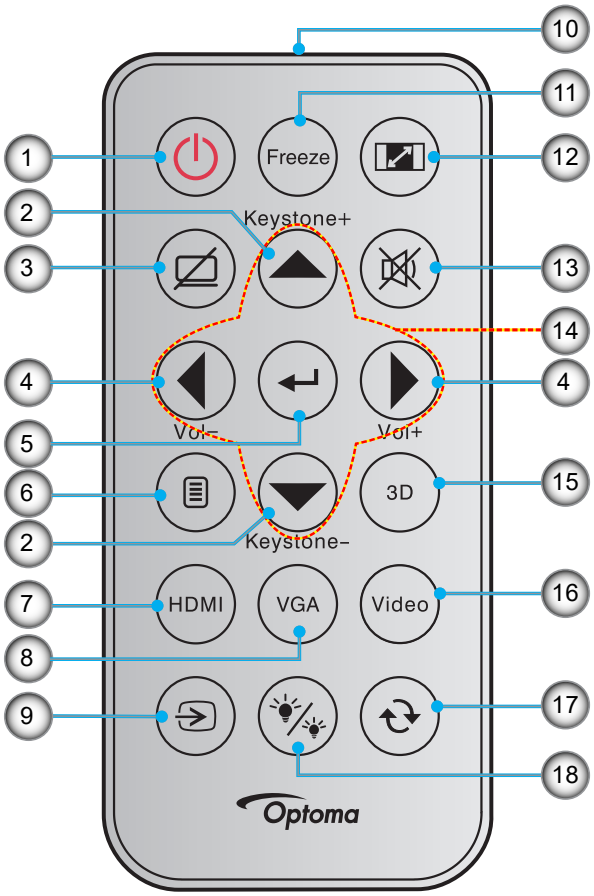
番号	項目	番号	項目
1.	パワーオン	15.	ユーザー 3
2.	ユーザー 2	16.	コントラスト
3.	ユーザー 1	17.	ディスプレイモード
4.	輝度	18.	アスペクト比
5.	キーストン	19.	3D メニューオン/オフ
6.	ミュート	20.	スリープタイマー
7.	DB (Dynamic Black)	21.	音量 +
8.	ソース	22.	再同期
9.	入力	23.	4 方向選択キー
10.	メニュー	24.	音量 -
11.	HDMI1	25.	HDMI2
12.	VGA1 (未サポート)	26.	YPbPr (未サポート)
13.	VGA2 (未サポート)	27.	ビデオ (未サポート)
14.	電源オフ		

注記:

- *実際のリモコンは、地域により変わることがあります。*
- *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*

はじめに

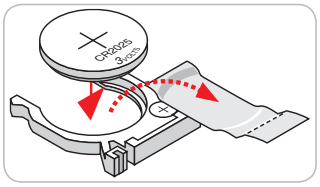
リモコン 2



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	10.	赤外線 LED インジケータ
2.	キーストン +/-	11.	フリーズ
3.	AV 消音	12.	アスペクト比
4.	音量 +/-	13.	ミュート
5.	入力	14.	4 方向選択キー
6.	メニュー	15.	3D
7.	HDMI	16.	ビデオ (未サポート)
8.	VGA (未サポート)	17.	再同期
9.	ソース	18.	ブライトネスモード

注記:

- *実際のリモコンは、地域により変わることがあります。*
- *これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、22 ページを参照してください。*

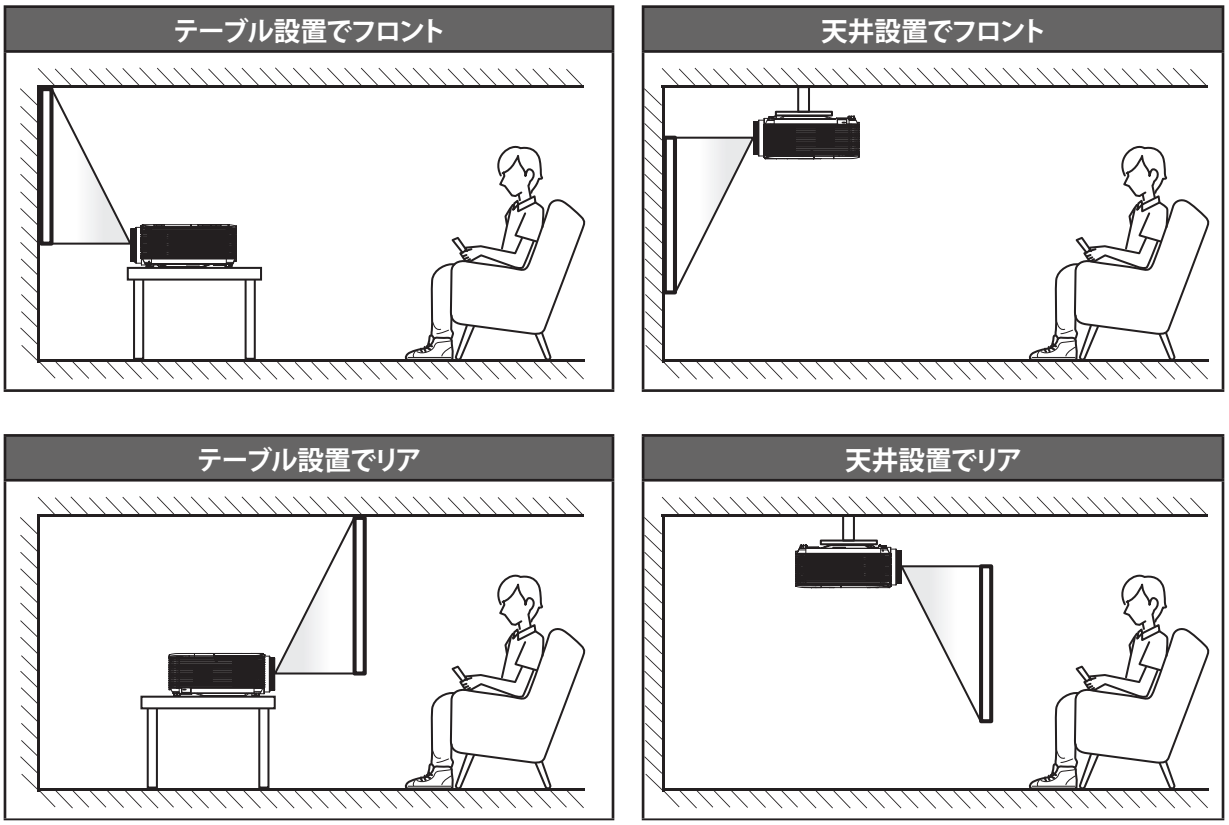


設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*60* ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*60*ページの距離表を参照してください。

注記: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

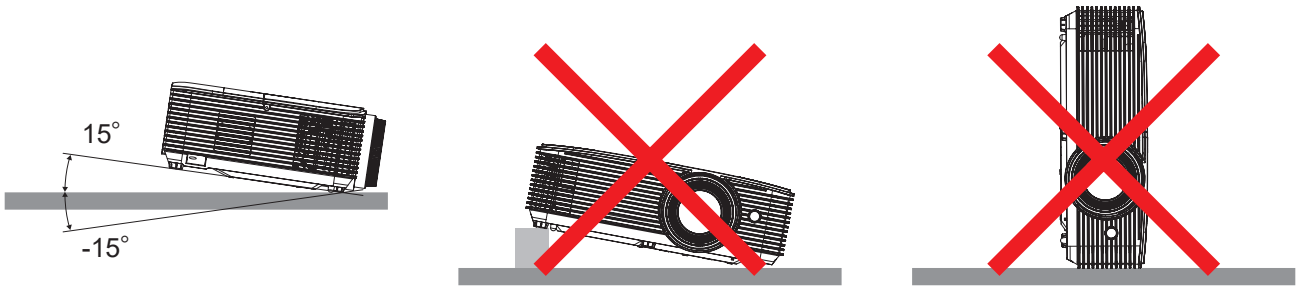
重要!

机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、Optoma にお問合せください。

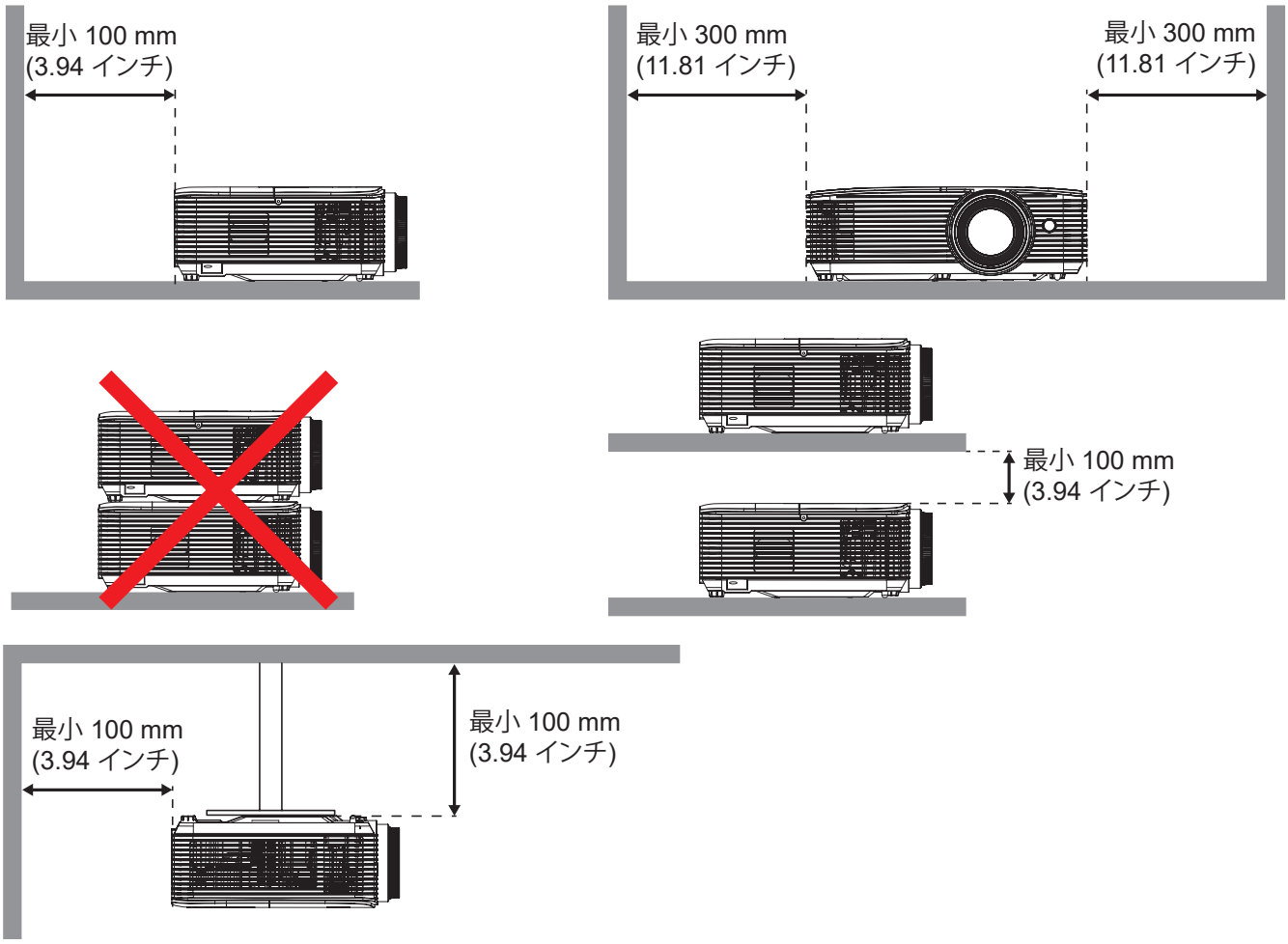
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- プロジェクターは水平に置いてください。
  プロジェクターの傾斜角は15度以内になるようにしてください。卓上および天井への取り付け以外の方法でプロジェクターを絶対に取り付けないでください。これに従わなかった場合、ランプの寿命が大幅に減少し、その他の**予期せぬ損害**につながる可能性があります。



- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。

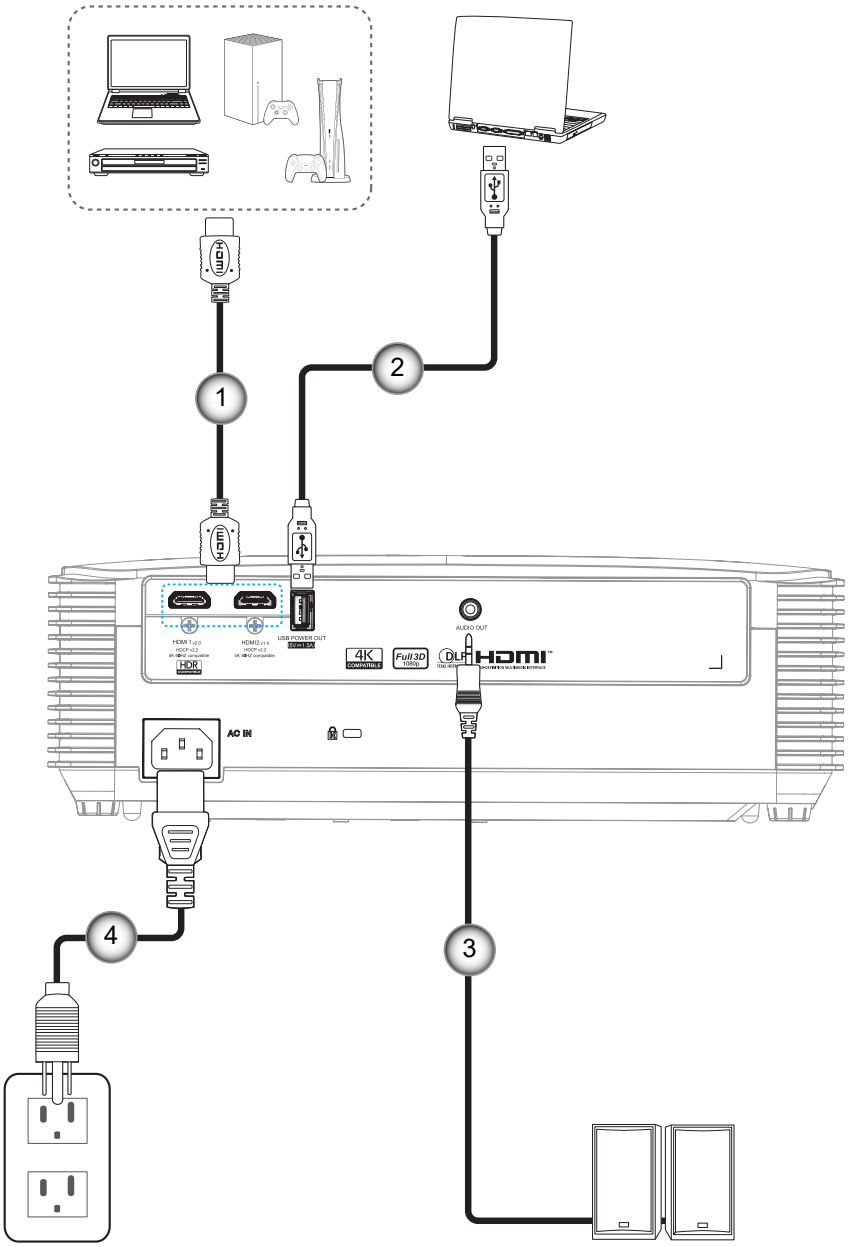


- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクタを操作する場合は、プロジェクタが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるので、プロジェクタが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

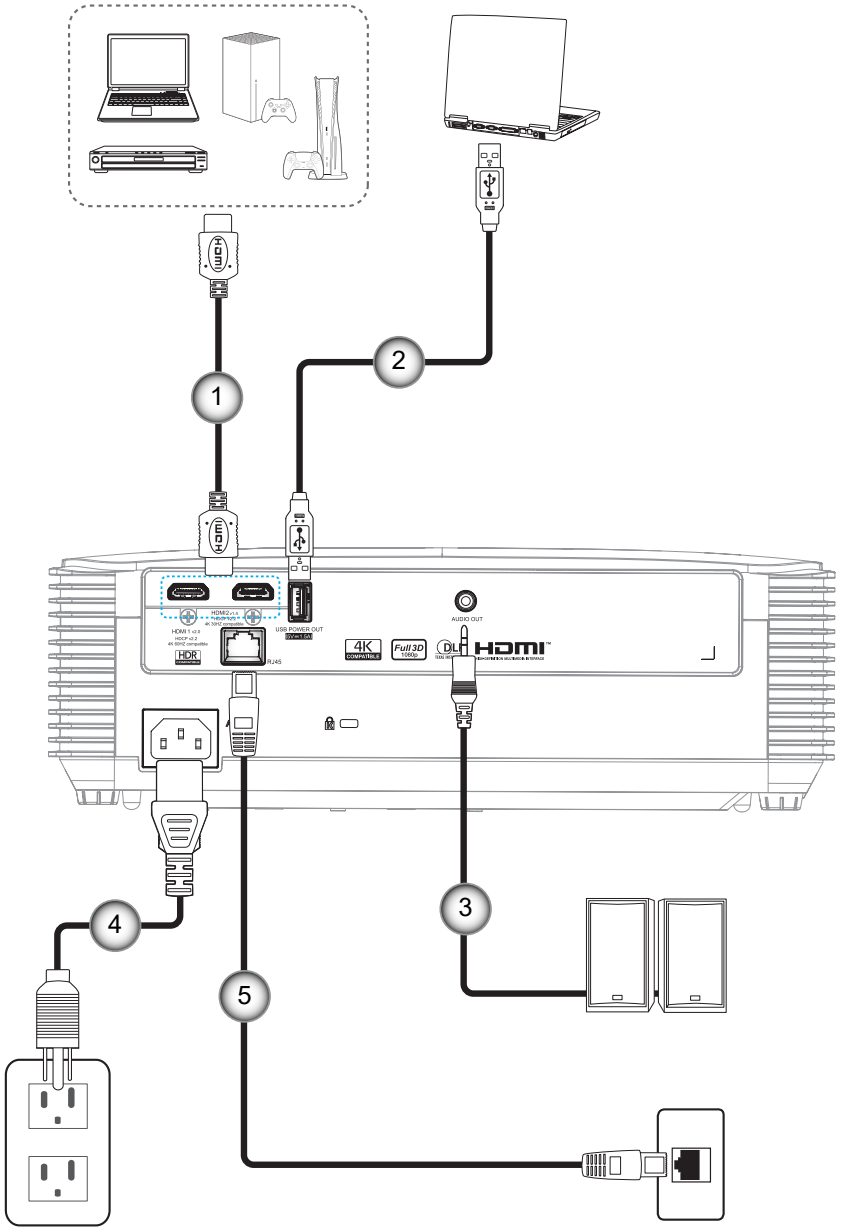
ソースをプロジェクターに接続する

タイプ 1 (4 I/O)



設定と設置

タイプ 2 (5 I/O)



番号	項目	タイプ 1 (4 I/O)	タイプ 2 (5 I/O)
1.	HDMI ケーブル	√	√
2.	USB ケーブル	√	√
3.	オーディオ出力ケーブル	√	√
4.	電源コード	√	√
5.	RJ-45 ケーブル	該当なし	√

注記: *「√」はこれら品目に対応していることを指し、「該当なし」はこれらの品目が利用できないことを意味します。*

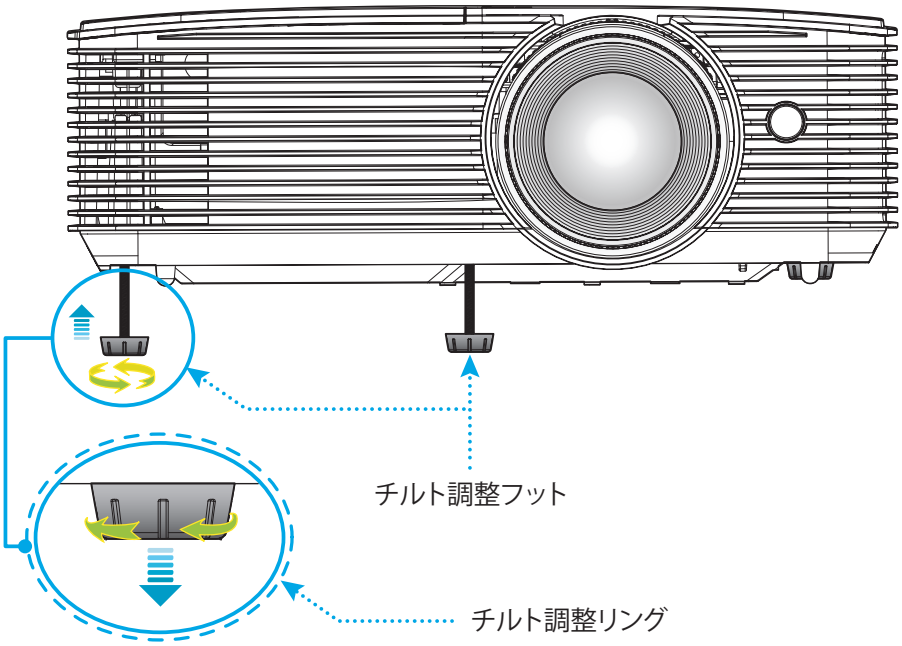
設定と設置

投射画像の調整

画像の高さ

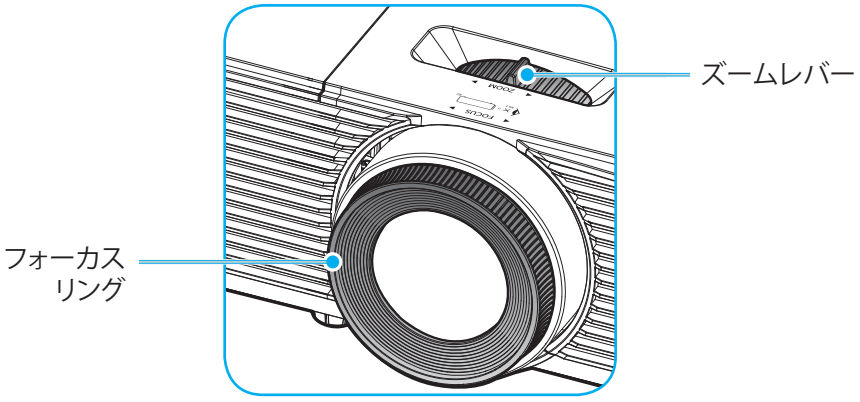
本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



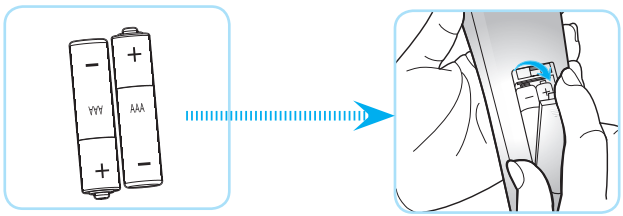
注記: *このプロジェクターは 1.0m ～ 10m の距離でピントを合わせることができます。*

設定と設置

電池の取り付け/交換 (リモコン 1 の場合)

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記: *交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。*

注意事項

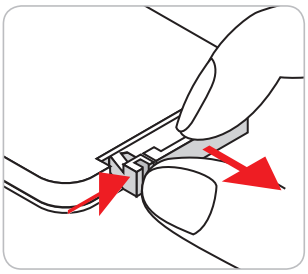
電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

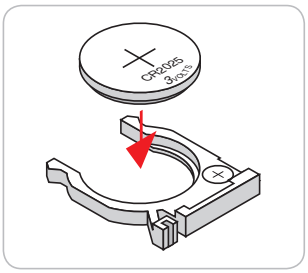
設定と設置

電池の取り付け/交換 (リモコン 2 の場合)

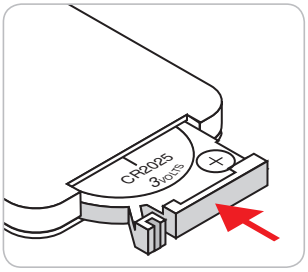
1. 電池カバーを強く押し、スライドさせて取り外します。



2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2025)。「+」のある面を必ず上に向けてください。



3. カバーを元のように取り付けます。



注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2025 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

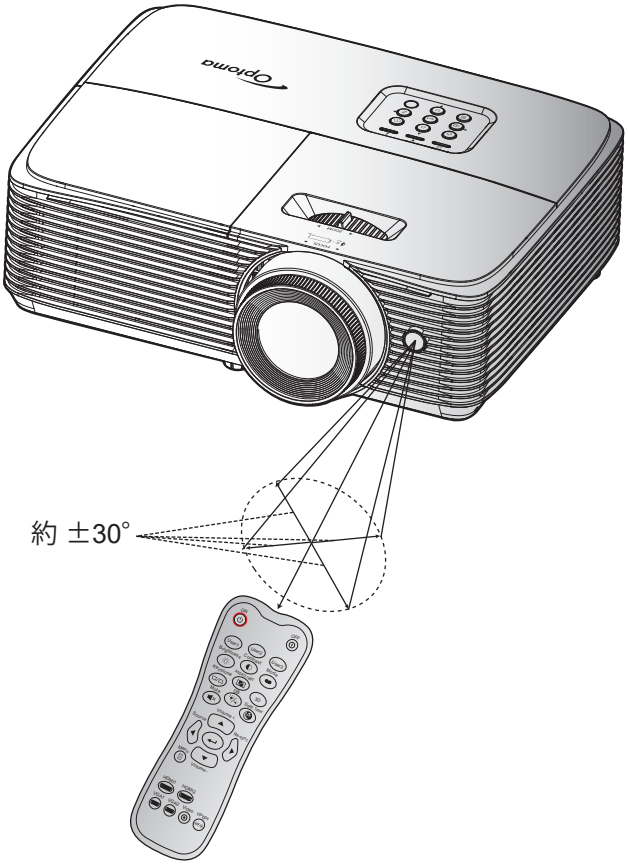
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの前面にあります。プロジェクターの前面にある IR リモコンセンサーに対して 60 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (20 フィート) 以内にする必要があります。

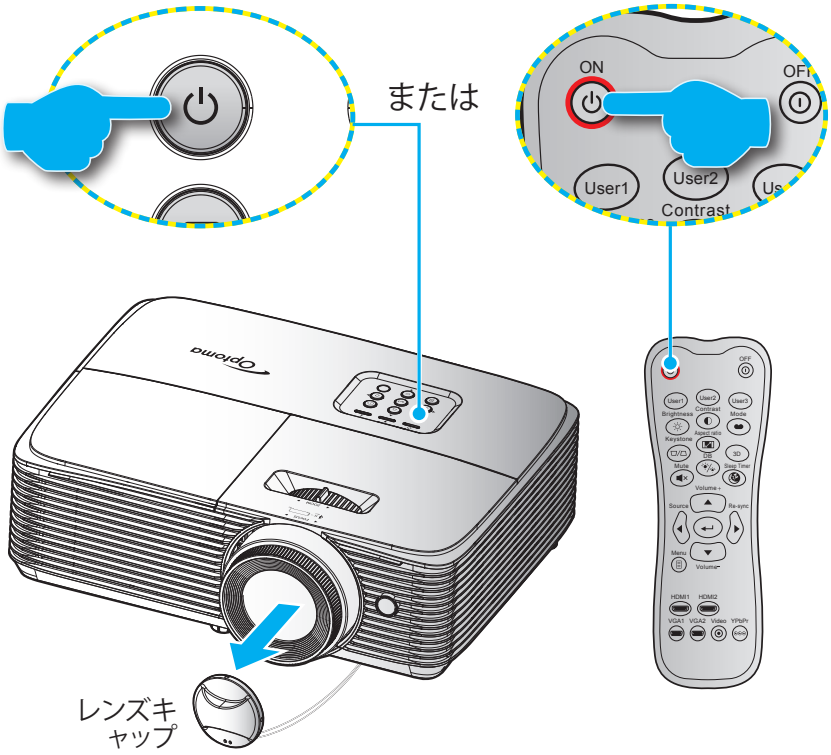
注記: *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、8 メートル (32 フィート) を超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 6 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



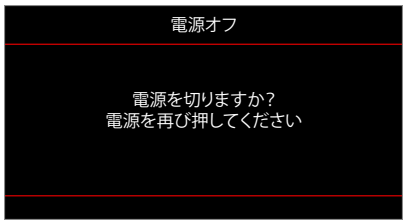
パワーオン

1. レンズ キャップを取り外します。
2. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
3. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
4. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が緑色または青色に点滅し、その後青色に点灯します。

注記: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向を選択するように求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



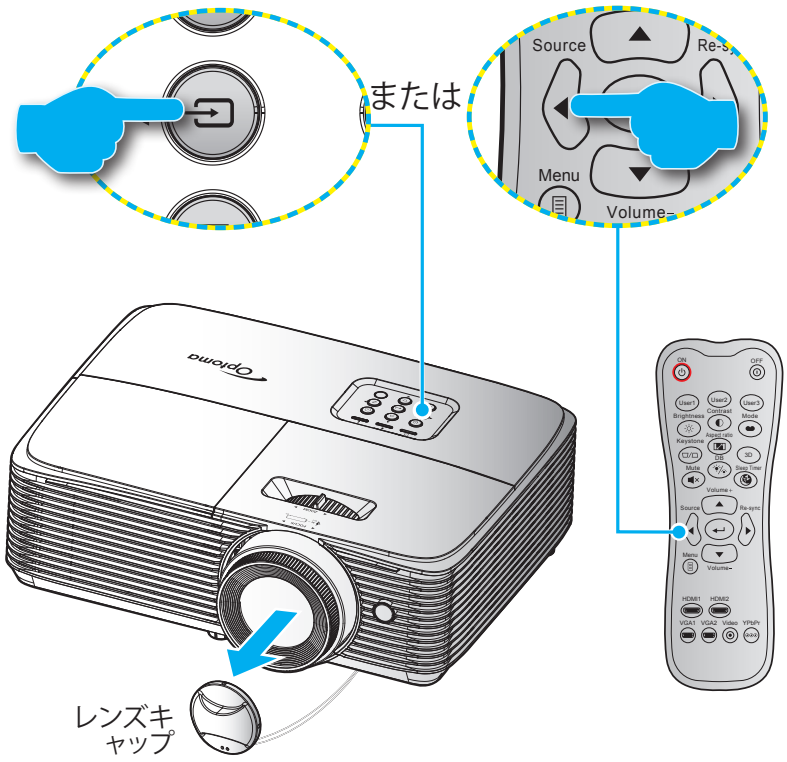
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、10 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイ LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターキーパッドの [⇨] ボタンまたはリモコンの**ソース**ボタンを押し、入力を選択します。



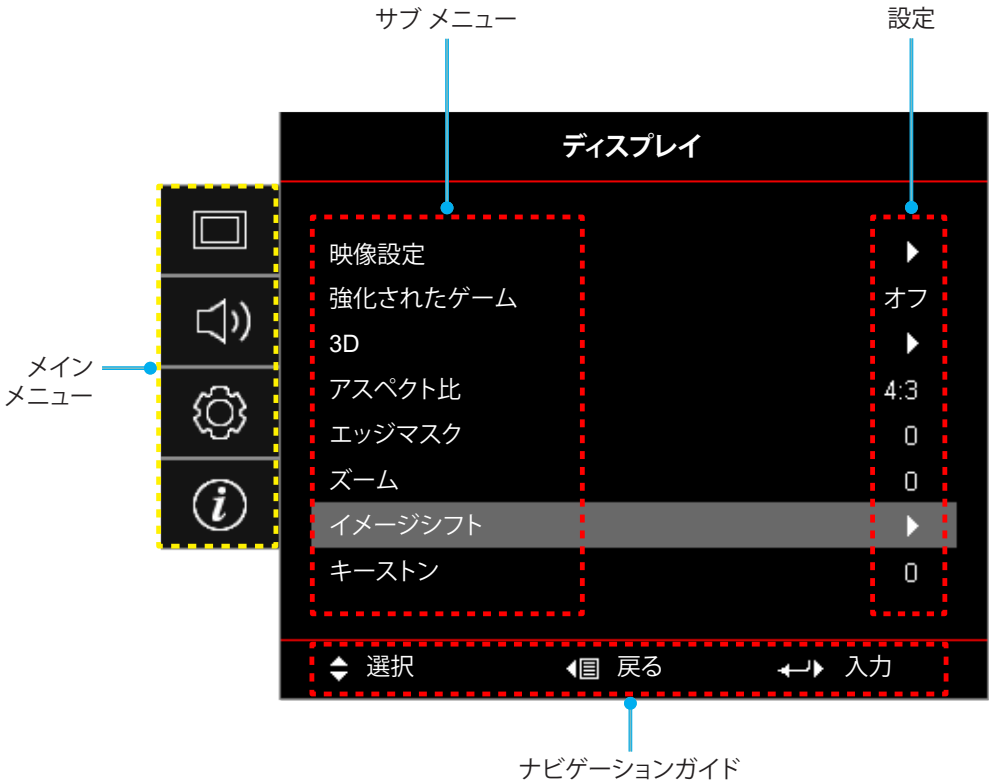
プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

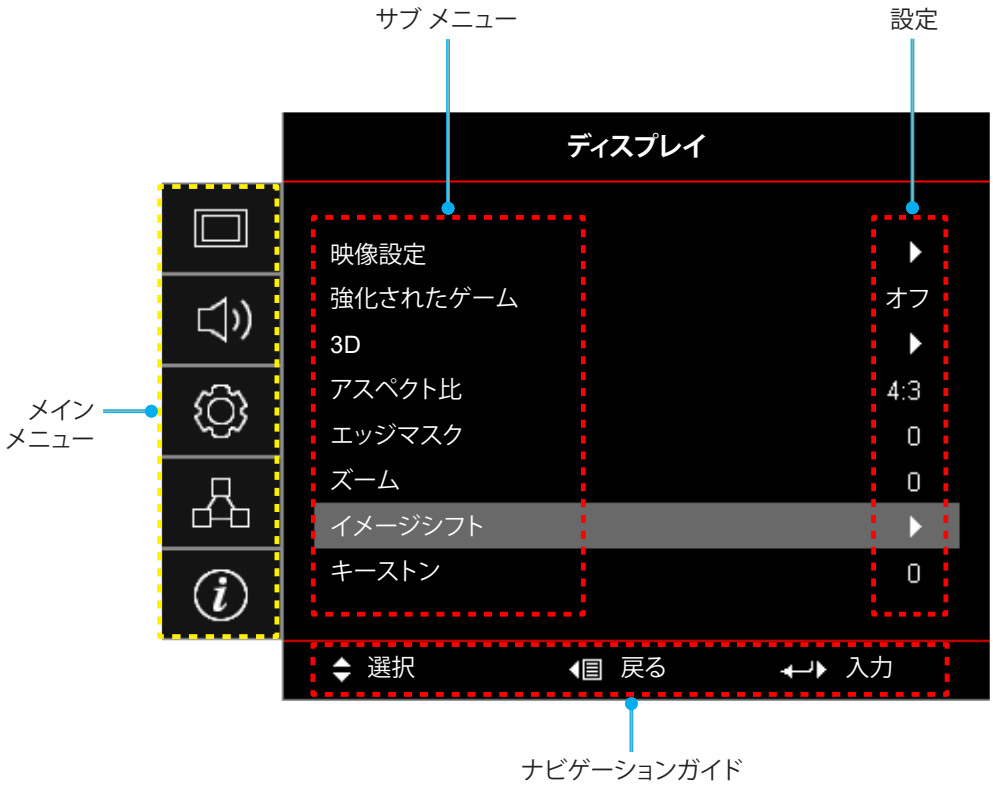
1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「 ☰ 」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、「↵」または「▶」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ◀▶ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、「↵」あるいは「▶」キーを押して詳細設定を表示します。◀▶ キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「↵」または「▶」を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「◀」または「 ☰ 」を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

タイプ 1 (4 I/O)



プロジェクターを使用する

タイプ 2 (5 I/O)



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	映像設定	ディスプレイモード			シネマ
					Vivid
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					HDR
					ユーザー
					3D
					ISF Day
					ISF Night
					ISF 3D
		ダイナミックレンジ	HDR		オフ
					自動 [デフォルト]
			HDRモード		ブライト
					標準 [デフォルト]
					フィルム
					細部
		壁紙色			オフ [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		輝度			-50 ～ 50
		コントラスト			-50 ～ 50
		シャープネス			1 ～ 15
		カラー			-50 ～ 50
		色あい			-50 ～ 50
		ガンマ	フィルム		
			ビデオ		
			グラフィック		
			標準 (2.2)		
			1.8		
			2.0		
			2.4		
			HDR		
		色設定	BrilliantColor™		1 ～ 10

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	映像設定	色設定	色温度		Warm
					標準
					クールホワイト
					冷色
			カラーマッチング	カラー	R [デフォルト]
					G
					B
					C
					Y
					M
					W
				色あい / R	-50 ～ 50
				彩度 / G	-50 ～ 50
				ゲイン / B	-50 ～ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ～ 50
				緑ゲイン	-50 ～ 50
				青ゲイン	-50 ～ 50
				赤バイアス	-50 ～ 50
				緑バイアス	-50 ～ 50
				青バイアス	-50 ～ 50
				リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい
				戻る	
			カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					YUV
		ダイナミックブラック			オフ
					オン
		ブライトネスモード			ブライト
					エコ
		リセット			
	強化されたゲーム				オフ [デフォルト]
					オン
	3D	3D モード			オフ [デフォルト]
					オン
		3D 技術			DLP-Link [デフォルト]
					3D 同期

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレイ	3D	3D->2D			3D [デフォルト]
					L
					R
		3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					サイド バイ サイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
		3D同期反転			オン
					オフ [デフォルト]
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	アスペクト比				4:3
					16:9
					LBX
					ネイティブ
					自動
	エッジマスク				0 ～ 10 [デフォルト:0]
	ズーム				-5 ～ 25 [デフォルト:0]
	イメージシフト	 H			-50 ～ 50 [デフォルト:0]
		 V			-50 ～ 50 [デフォルト:0]
	キーストン				-40 ～ 40 [デフォルト:0]
オーディオ	ミュート				オフ [デフォルト]
					オン
	音量				0～10 [デフォルト: 5]
セットアップ	設置モード				フロント  [デフォルト]
					リア 
					天井 - 上部 
					リア - 上部 
	ランプ設定	ランプ警告			オフ
					オン [デフォルト]
		ランプリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	フィルター設定	エアフィルター取付			はい
					いいえ
		エアフィルター使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ寿命			オフ
					300 時間
					500 時間 [デフォルト]
					800 時間
					1000 時間

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
セットアップ	フィルター設定	エアフィルター使用時間リセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		信号検知オートパワーオン			オフ [デフォルト]
					オン
		自動パワーオフタイマー(分)			0 ～ 180 (5 分の増分) [デフォルト:20]
		スリープタイマー (分)	スリープタイマー (分)		0 ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト: 0]
			常にON		いいえ [デフォルト]
					はい
		クイックレジューム			オフ [デフォルト]
					オン
		USB給電			オフ
					オン [デフォルト]
		電源モード (スタンバイ) (タイプ 2 (5 I/O) のみ)			アクティブ
					エコ [デフォルト]
	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー		月	
				日	
				時	
		パスワード変更			
	HDMIリンク設定	HDMIリンク			オフ
					オン
		モニター連動			いいえ
					はい
		電源オン設定			双方向設定
					プロジェクター->機器
					機器->プロジェクター
		電源オフ設定			オフ
					オン
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白グリッド
					白
					オフ

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
セットアップ	リモコン設定 [リモコンによる]	リモコン受光設定			オン
					オフ
		ユーザー1			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー [デフォルト]
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
		User2			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング [デフォルト]
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
		User3			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度 [デフォルト]
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
					ズーム
					フリーズ
	オプション	言語			English [デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
セットアップ	オプション	言語			Svenska
					Norsk/Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					简体中文
					日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عربي
					ไทย
					Türkçe
					فارسی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
					Slovenčina
		メニュー設定	メニュー位置		左上 
					右上 
					中央  [デフォルト]
					左下 
					右下 
			メニュータイマー		オフ
					5 秒
					10 秒 [デフォルト]
		自動ソース			オフ [デフォルト]
					オン
		入力ソース			HDMI1
					HDMI2
		入力名	HDMI1		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
			HDMI2		デフォルト [デフォルト]
					カスタム
		高地モード			オフ [デフォルト]
					オン
		ディスプレイモードロック			オフ [デフォルト]
					オン
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]
					オン

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブ メニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
セットアップ	オプション	情報を表示しない			オフ [デフォルト]
					オン
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]
					ロゴ無し
		背景色			なし [デフォルト]
					青色
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]
					はい
ネットワーク (タイプ 2 (5 I/O) のみ)	LAN	ネットワーク情報			(読み取り専用)
		MAC アドレス			(読み取り専用)
		DHCP			オフ [デフォルト]
					オン
		IP アドレス			192.168.0.100 [デフォルト]
		サブネットマスク			255.255.255.0 [デフォルト]
		ゲートウェイ			192.168.0.254 [デフォルト]
		DNS			192.168.0.51 [デフォルト]
		リセット			
情報	制御				
	シリアル番号				
	ソース				
	解像度				xxxx
	リフレッシュ レート				xx Hz
	ディスプレイモード				
	ランプ使用時間	ブライト			0 hr
		エコ			0 hr
		ダイナミック			0 hr
		合計			
	エアフィルター使用時間				
	ブライトネスモード				
	FW バージョン	システム			
		LAN (タイプ 2 (5 I/O) のみ)			
		MCU			

注記: *機能は、モデル定義により異なります。*

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

表示画像設定メニュー

ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**: 映画を見るために最適な色を提供します。
- **Vivid**: このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。
- **ゲーム**: ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス**: 高解像度テレビ (HDTV) の標準である Rec.709 に近い、精度が最も高く、自然に見える色を提供します。
- **ブライト**: PC 入力に対する最大輝度。
- **HDR**: ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **ユーザー**: ユーザー設定を保存します。
- **3D**: 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。
- **ISF Day**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF Day モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF Night モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF 3D**: 画像を完ぺきに較正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

注記: *ISF 日中/夜間表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。*

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

➤ **HDR**

- **オフ**: HDR 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR コンテンツを復号しません。
- **自動**: HDR 信号を自動検出します。

➤ **HDRモード**

- **ブライト**: このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準**: このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム**: このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **細部**: 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

壁紙色

この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーン画像を最適化します。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

輝度

画像の輝度を調整します。

プロジェクターを使用する

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホームシアター用。
- **ビデオ**: ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**: PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2)**: 標準化された設定用。
- **1.8** / **2.0** / **2.4**: 特定の PC/写真ソース用。
- **HDR**: HDR ソース用。

注記: *ディスプレイモード設定が**HDR**に設定されている場合、ユーザーは**HDR**設定に**ガンマ**のみ選択できます。*

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™**: 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度**: Warm、標準、クールホワイト、または冷色から色温度を選択します。
- **カラーマッチング**: 次のオプションを選択します:
  - カラー: 画像の赤 (R)、緑 (G)、黒 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、および白 (W) レベルを調整します。
  - 色あい / R(赤)*: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
    注記: * ***色**バランスが単色(白) (**W**) に設定されている場合、赤色バランスを調整することができます。*
  - 彩度 / G(緑)*: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
    注記: * ***色**バランスが単色(白) (**W**) に設定されている場合、緑色バランスを調整することができます。*
  - ゲイン / B(青)*: 画像の明るさを調整します。
    注記: * ***色**バランスが単色(白) (**W**) に設定されている場合、青色バランスを調整することができます。*
  - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [カラーマッチング] メニューを終了します。

- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [RGB ゲイン/バイアス] メニューを終了します。
- **カラースペース (HDMI 入力)**:以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: [自動]、[RGB (0-255)]、[RGB (16-235)]、および [YUV]。

ダイナミックブラック

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

ブライトネスモード

ランプ土台プロジェクター用のブライトネスモード設定を調整します。

- **ブライト**: [ブライト] を選択すると輝度が増します。
- **エコ**: [エコ] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

エンハンストゲームメニューの表示

強化されたゲーム

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 16 ミリ秒に低減します。

注記: *この機能は、1080P@60Hz/1080P@120Hz 信号の場合のみ動作します。*

ディスプレーの 3D メニュー

3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ**: [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン**: [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D 技術

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLP-Link**: 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期**: IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D->2D

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D:** 3D 信号を表示します。
- **L (左):** 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **R (右):** 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイド バイ サイド**: 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム**: 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**: 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **キャンセル**: リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい**: 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

アスペクト比メニューの表示

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **LBX**: 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **ネイティブ**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記: *LBX モードに関する詳細情報:*

- *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。*
- *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*

プロジェクターを使用する

1080p スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4x3	1440x1080 にスケーリングします。				
16x9	1920x1080 にスケーリングします。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1080 画像を表示します。				
ネイティブ	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				
自動	- 自動フォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1920x1080) になります。 - ソースが 4:3 の場合、スクリーンタイプは 1440 x1080 にスケーリングされます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1920x1080 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、画面タイプは 1920x1200 にサイズ変更され、表示する 1920x1080 の領域が切り取られます。				

1080p 自動マッピング規則 :

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

表示エッジマスクメニュー

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

表示ズームメニュー

ズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

表示画像シフトメニュー

イメージシフト

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

プロジェクターを使用する

表示キーストンメニュー

キーストン

プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。

オーディオメニュー

オーディオミュートメニュー

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:**「オン」を選択すると消音が有効になります。
- **オフ:**「オフ」を選択すると消音が無効になります。

注記:

- *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*
- *外部スピーカーが接続されると、内部スピーカーは自動的にミュートします。*

オーディオボリュームメニュー

音量

オーディオ音量レベルを調整します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

投影設定メニュー

設置モード

フロント、背面、天井 - 上部、および背面 - 上部からお好みの投影を選択します。

ランプ設定メニュー

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

フィルタ設定メニュー

エアフィルター取付

警告メッセージを設定します。

- **はい：** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。
  注記: *「エアフィルター使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルター使用時間リセット」は、「エアフィルター取付」が「はい」のときのみ表示されます。*
- **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。

エアフィルター使用時間

エアフィルター使用時間を表示します。

エアフィルタ寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、オフ、300 時間、500 時間、800 時間、1000 時間 です。

エアフィルター使用時間リセット

ダストフィルターを交換または洗浄した後、ダストフィルターカウンタをリセットしてください。

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記: *[信号検知オートパワーオン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。*

自動パワーオフタイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー (分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

  注記: *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
- **常にON:** スリープタイマーが常に ON に設定されていることを確認します。

クイックレジューム

クイックレジュームを設定します。

- **オン:** プロジェクタが間違ってオフになった場合、100 秒以内に選択すると、この機能によりプロジェクタの電源を直ちにオンにできます。
- **オフ:** プロジェクタをオフにすると、システムは 10 秒後に冷却を開始します。

USB給電

USB 電源を設定します。

- **オン:** プロジェクターには、USB 電源により、常に電源が供給されます。
- **オフ:** USB 電源機能はオフです。

電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:** [アクティブ] を選択して、ノーマルスタンバイ (LAN オン、VGA OUT オフ) に戻ります。
- **エコ:** [エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

注記:

- *[信号検知オートパワーオン] が有効である場合、アクティブスタンバイでファンを動作し続けます。*
- *このメニューは、タイプ 2 (5 I/O) モデルにのみ適用されます。*

セキュリティ設定メニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。

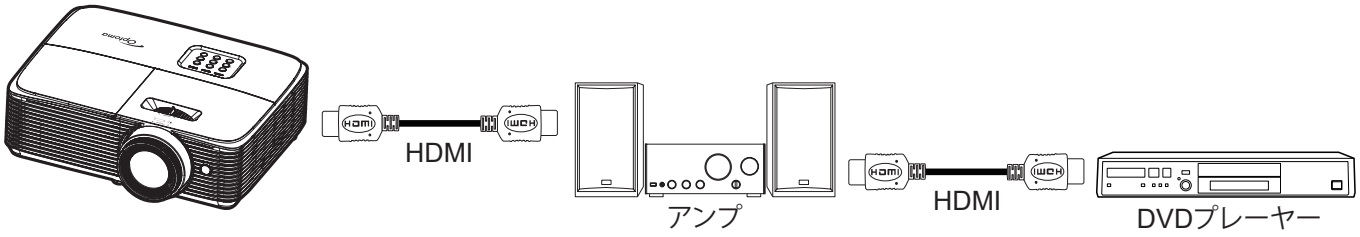
パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

HDMI Link 設定メニューの設定

注記: *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



HDMIリンク

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。インクルーシブTV、電源オン設定、電源オフ設定オプションは設定が [オン] に設定されている場合のみ使用できます。

モニター連動

テレビとプロジェクターを同時に自動的にオフする場合は、[はい] に設定します。両方のデバイスが同時にオフにならないように、設定を「いいえ」にします。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクタとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター->機器:** プロジェクタがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **機器->プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクタのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

テストパターンメニューの設定

テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

リモート設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** [オン] を選択すると、IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

ユーザー1/ User2/ User3

ユーザー1、User2、User3 デフォルト機能を テストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、ランプ設定、ズーム、フリーズ から割り当てます。

プロジェクターを使用する

オプション設定メニュー

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、およびスロバキア語から選択します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**: スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**: OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

自動ソース

このオプションを [オン] に設定ししている場合、プロジェクター キーパッドの ボタン、またはリモコンの **Source** ボタンを押すと、次に利用可能な入力ソースが自動的に選択されます。[オフ] に設定して、自動入力検索機能を無効にします。

入力ソース

入力源として HDMI1 または HDMI2 を選択します。

入力名

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。

高地モード

「オン」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレイモードロック

[オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

情報を表示しない

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
- **オン:** [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し:** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注記: *背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。*

プロジェクターを使用する

リセットメニューの設定

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット

設定メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー

注記: *このメニューは、タイプ 2 (5 I/O) モデルにのみ適用されます。*

ネットワーク LAN メニュー

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。

MAC アドレス

MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。

DHCP

このオプションを利用し、DHCP 機能を有効または無効にします。

- **オン**: プロジェクターがネットワークから自動的に IP アドレスを取得します。
- **オフ**: IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 構成を手動で割り当てます。

注記: *既存の OSD が、入力した値を自動的に適用します。*

IP アドレス

IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を表示します。

ゲートウェイ

プロジェクターに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します（「ネットワーク > LAN > IP アドレス」）。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
   プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

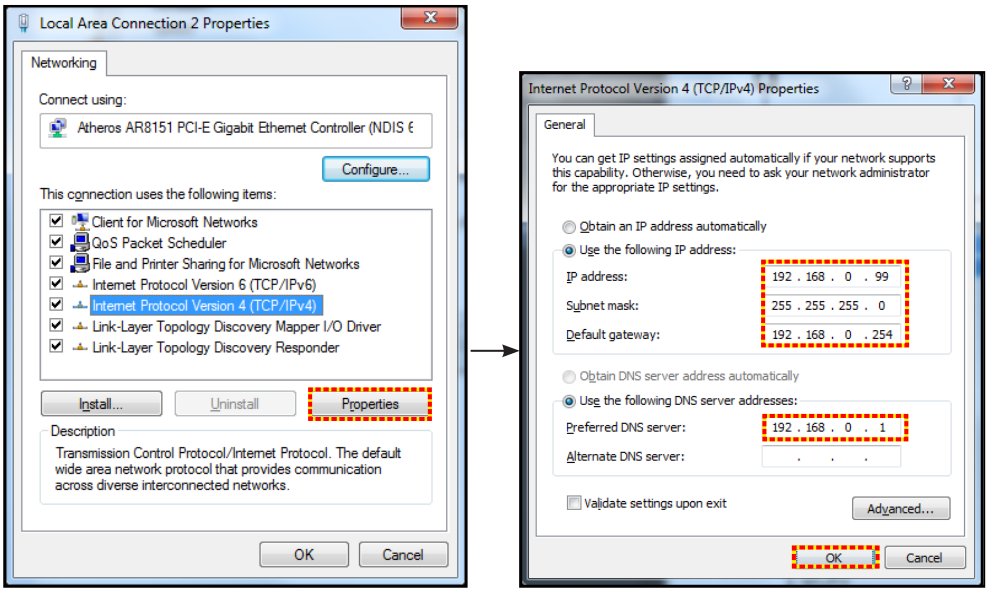
注記:

- *既定のユーザー名とパスワードは「admin」です。*
- *このセクションの手順は Windows 7 オペレーティングシステムに基づいています。*

プロジェクターを使用する

コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します (「ネットワーク > LAN」)。
3. PC の [***ネットワークと共有センター***] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。



4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

リセット

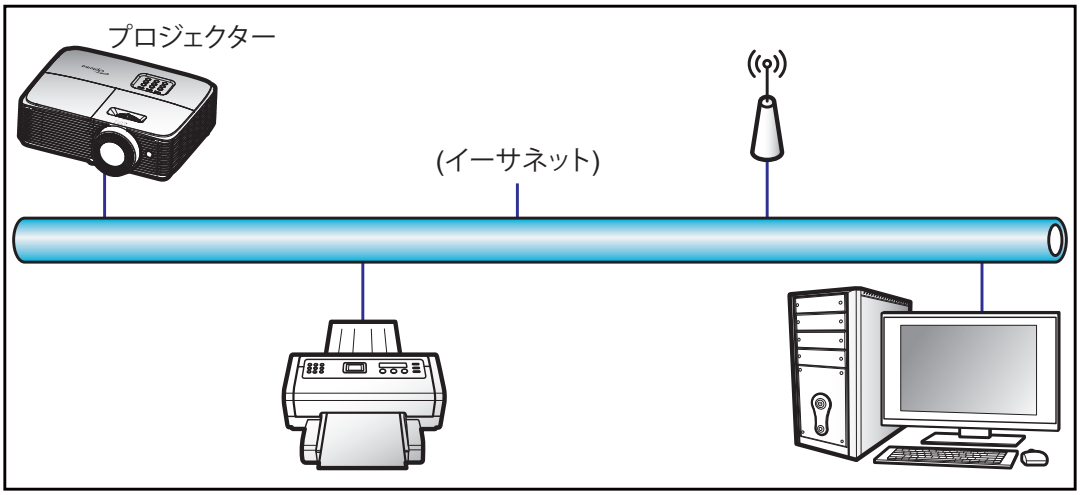
LAN パラメーターのすべての値をリセットします。

プロジェクターを使用する

設定のネットワーク：コントロール設定メニュー

LAN_RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターのステータス情報も提供されます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは PJLink Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

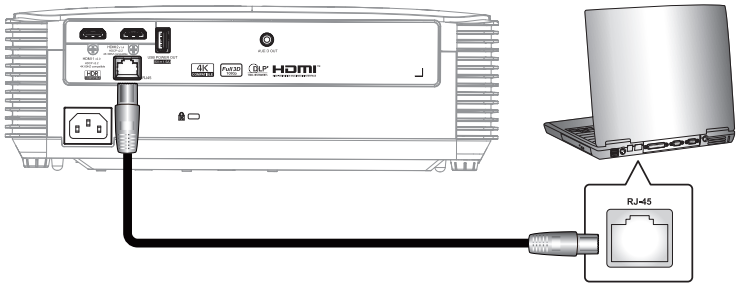
http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

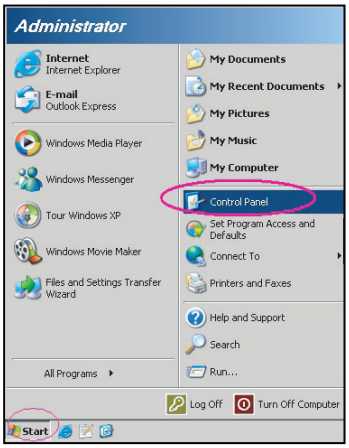
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

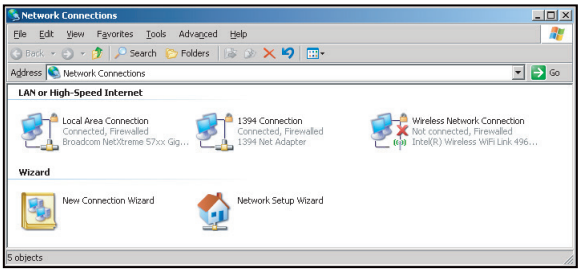
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



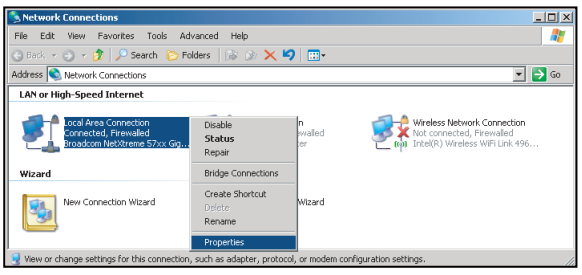
2. PC (ラップトップ) で、**Start (スタート)** > **Control Panel (コントロールパネル)** > **Network Connections (ネットワーク接続)** の順に選択します。



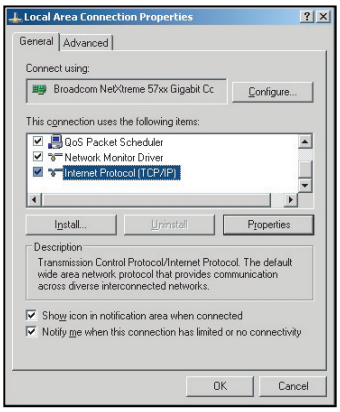
3. **Local Area Connection (ローカルエリア接続)** を右クリックし、**Property (プロパティ)** を選択します。



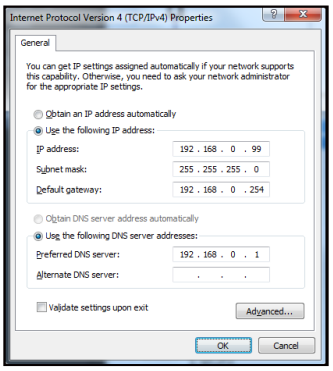
4. **Properties (プロパティ)** ウィンドウで、**General (全般)** タブを選択し、**Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル (TCP/IP))** を選択します。



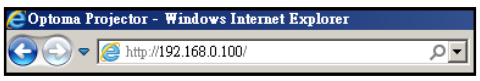
5. [Property (プロパティ)] をクリックします。



6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。



7. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
8. プロジェクターで **ネットワーク** > **LAN** の順に開きます。
9. 次の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP: オフ
   - IP アドレス: 192.168.0.100
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 192.168.0.254
   - DNS: 192.168.0.1
10. [Enter] を押し、設定を確定します。
11. Adobe Flash Player 9.0 以降をインストールした Microsoft Internet Explorer など、Web ブラウザーを開きます。
12. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。192.168.0.100。

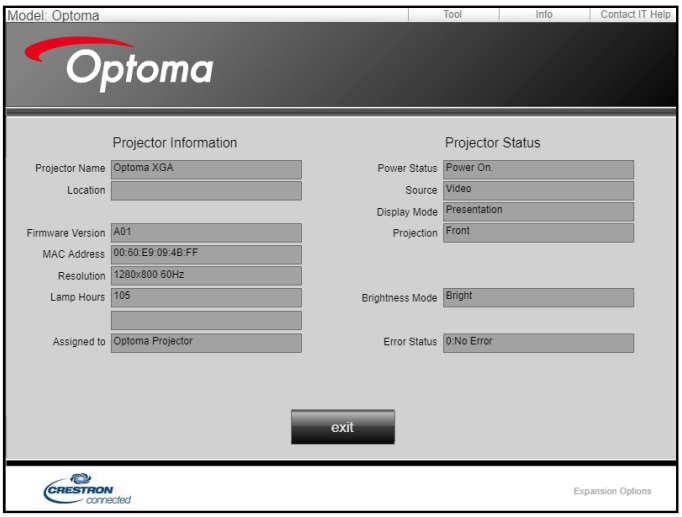


13. [Enter] を押します。

プロジェクターを使用する

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

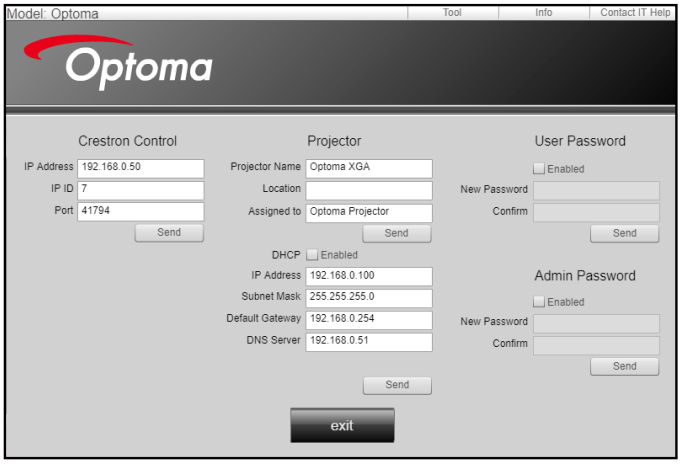
情報ページ



メインページ



ツールページ



IT ヘルプデスクに問い合わせる



プロジェクターを使用する

RS232 by Telnet Function

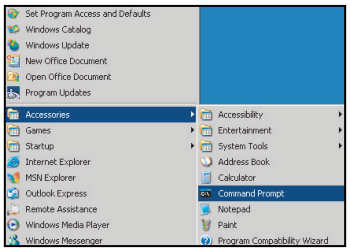
RS232 コマンドの制御方法には代替があります。これは LAN/RJ45 インターフェイスで [RS232 by TELNET] と呼ばれています。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
- PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。



1. **スタート** > **すべてのプログラム** > **アクセサリ** > **コマンドプロンプト**の順に選択します。



2. コマンドを次の形式で入力します。
   – telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
   – (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
3. Telnet 接続の用意ができて、RS232 コマンドを入力できるのであれば、[Enter] を押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細は、サービスエージェントまたはチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. RS232-by-Telnet 制御の通常切断: 閉じる
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
   – Telnet 制御の制限 1:Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
   – Telnet 制御の制限 2:Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 26 バイト未満とされています。
   – Telnet 制御の制限 3: 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

情報メニュー

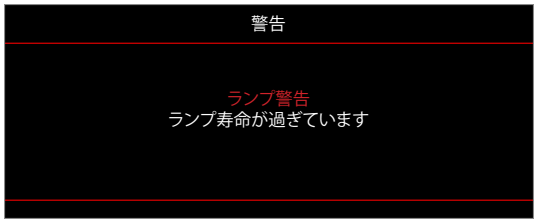
以下に示すプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- リフレッシュ レート
- ディスプレイモード
- ランプ使用時間
- エアフィルター使用時間
- ブライトネスモード
- FW バージョン

保守管理

ランプの交換 (メンテナンス要員のみ)

プロジェクターは白熱電球の寿命を自動的に検出し、白熱電球の寿命が近づくと、画面に警告メッセージを表示します。



このメッセージが表示されたら、できるだけ早く、お近くの販売店またはサービスセンターに白熱電球の交換を依頼してください。白熱電球を交換する前に、プロジェクターの電源を切り、電源コードを取り外し、30 分以上プロジェクターを冷却させ、白熱電球が完全に冷えていることを確認してください。



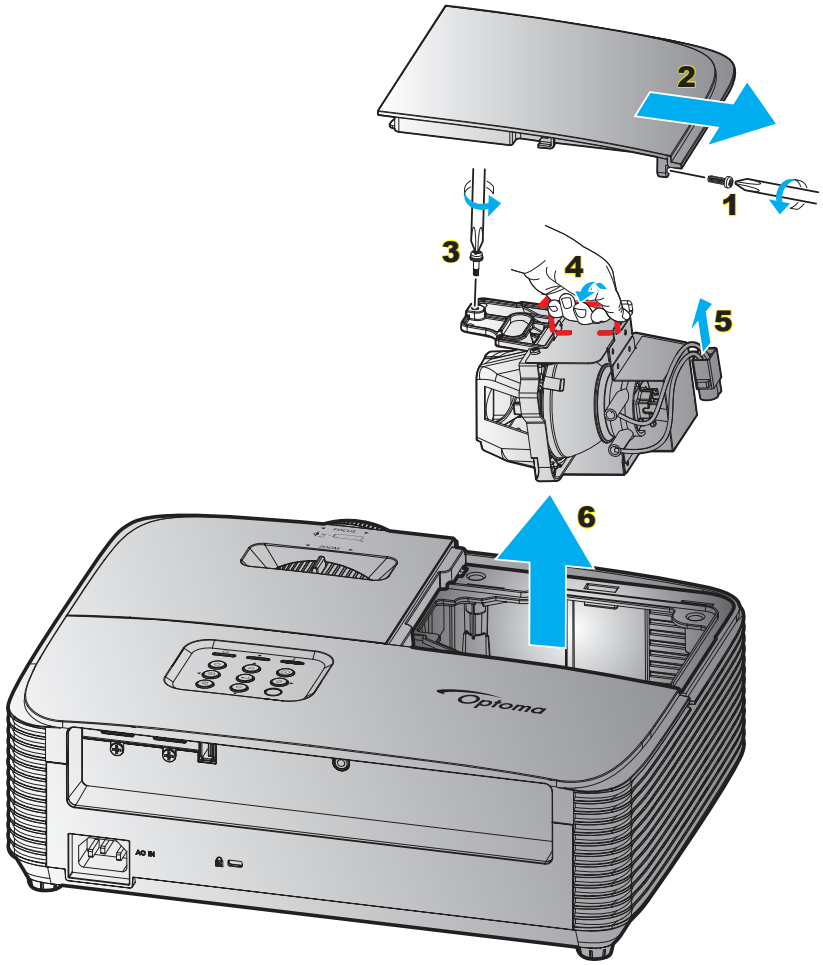
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにあるネジをゆるめます。1
5. カバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジをゆるめます。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i)「メニュー」→ を押し、(ii)「セットアップ」→ を選択し、(iii)「ランプ設定」→ を選択し、(iv)「ランプリセット」→ を選択し、(v)「はい」を選択します。

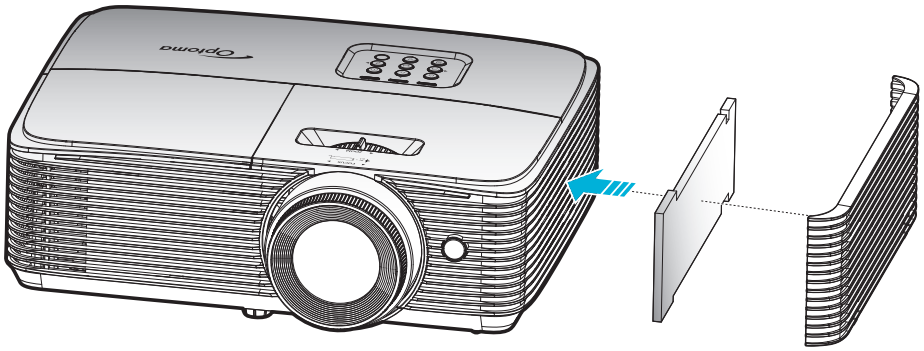
注記:

- *ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。*
- *プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。*
- *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

保守管理

ダストフィルターの取り付けと洗浄

ダストフィルタの取り付け



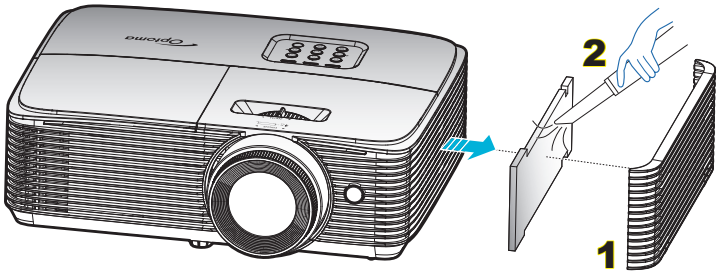
注記: *ダストフィルターは、埃が過度に多い、一部の地域でのみ必要であり、同梱されます。*

ダストフィルタの洗浄

ダストフィルターを 3 ヶ月ごとに洗浄することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は洗浄の頻度を多くしてください。

手順:

1. リモコンまたはプロジェクターのキーパッドにある「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにします。
2. 電源コードを外します。
3. ダストフィルタを注意深く取り外します。1
4. ダストフィルターを掃除または交換してください。2
5. ダストフィルターを取り付けるには、上記の手順を逆に繰り返します。



追加情報

対応解像度

デジタル互換性

HDMI1.4 (パネル解像度: 1920 x 1080 @ 60Hz)

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz	720 x 576p @ 50Hz 4:3	1280 x 720p @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 16:9	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1440 x 900 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	3840 x 2160 @ 30Hz
640 x 480 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		720(1440) x 576i @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 60Hz	1024 x 768 @ 120Hz		720(1440) x 576i @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz		720(1440) x 480i @ 60Hz 4:3	
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720(1440) x 480i @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz			640 x 480p @ 60Hz 4:3	
1024 x 768 @ 70Hz			2880 x 576i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			2880 x 480i @ 60Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
			1920 x 1080p @ 30Hz 16:9	
			1920 x 1080p @ 25Hz 16:9	
			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
			1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
			1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
			1440 x 576p @ 50Hz 16:9	
			1440 x 480p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	

追加情報

HDMI2.0 (パネル解像度: 1920 x 1080 @ 60Hz)

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz	720(1440) x 480i @ 60Hz 4:3	3840 x 2160 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720(1440) x 576i @ 50Hz 4:3	
640 x 480 @ 72Hz	1440 x 900 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 800 @ 60Hz		640 x 480p @ 60Hz 4:3	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 30Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 60Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 30Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 25Hz 16:9	
			3840 x 2160p @ 24Hz 16:9	
			4096 x 2160p @ 25Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 24Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 60Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 50Hz 256:135	
			4096 x 2160p @ 30Hz 256:135	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			720(1440) x 480i @ 60Hz 16:9	
			720 x 576p @ 50Hz 16:9	
			2880 x 480i @ 60Hz 16:9	
			1440 x 480p @ 60Hz 16:9	
			2880 x 576i @ 50Hz 16:9	
			1440 x 576p @ 50Hz 16:9	
			720(1440) x 576i @ 50Hz 16:9	

追加情報

True 3D ビデオ互換性

<table>
<tr><td rowspan="18">入力解像度</td><td rowspan="10">HDMI 1.4a
3D 入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.3</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">サイドバイサイド(ハーフ)</td><td rowspan="4">SBS モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">トップアンドボトム</td><td rowspan="4">TAB モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>480i 1024 x 768 @ 120Hz</td><td rowspan="2">HQFS</td><td rowspan="2">3D フォーマットが Frame Sequential</td></tr>
<tr><td>1280 x 720 @ 120Hz</td></tr>
</table>

注記:

- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。*
- *Optoma から特許料がない場合、NVIDIA 3DTV Play をサポートします。*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100Hz で動作します。1080p@24Hz は 144Hz で動作し、その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*

追加情報

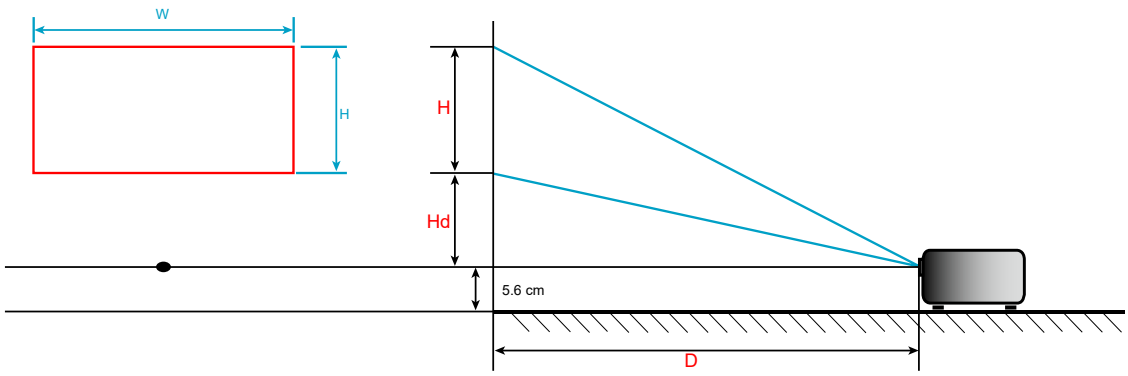
イメージサイズと投射距離

目標距離 (m)	画面サイズ (最小ズーム)		上端	画面サイズ (最大ズーム)		上端
	対角 (インチ)	横 (cm) x 縦 (cm)	ベースから画像の上部まで (cm)	対角 (インチ)	横 (cm) x 縦 (cm)	ベースから画像の上部まで (cm)
1	27.2	60 x 34	39	30	67 x 38	44
1.2	33	72 x 41	47	36	80 x 45	52
2	54	120 x 68	79	60	133 x 75	87
2.5	68	151 x 85	98	75	167 x 94	109
3	82	181 x 102	118	90	200 x 113	131
3.5	95	211 x 119	138	105	233 x 131	152
4	109	241 x 136	157	120	267 x 150	174
5	136	301 x 169	197	151	333 x 188	218
6	163	361 x 203	236	181	400 x 225	261
7	190	422 x 237	275	211	467 x 263	305
8	218	482 x 271	314	240.9	533 x 300	348
9	245	542 x 305	354	271	600 x 338	392
10	272	602 x 339	393	301.1	667 x 375	435

注記: *ズーム比は 1.1x です。*

希望のイメージサイズ		距離 (m)		上部 (cm)
対角 (インチ)	横 (cm) x 縦 (cm)	最大ズーム	最小ズーム	ベースから画像の上部まで
27	60 x 34	-	1.0	39
50	111 x 62	1.7	1.8	72
60	133 x 75	2.0	2.2	87
70	155 x 87	2.3	2.6	101
80	177 x 100	2.7	2.9	116
90	199 x 112	3.0	3.3	130
100	221 x 125	3.3	3.7	144
120	266 x 149	4.0	4.4	173
150	332 x 187	5.0	5.5	217
200	443 x 249	6.6	7.3	289
250	553 x 311	8.3	9.2	361
300	664 x 374	10.0	-	433

注記: *ズーム比は 1.1x です。*

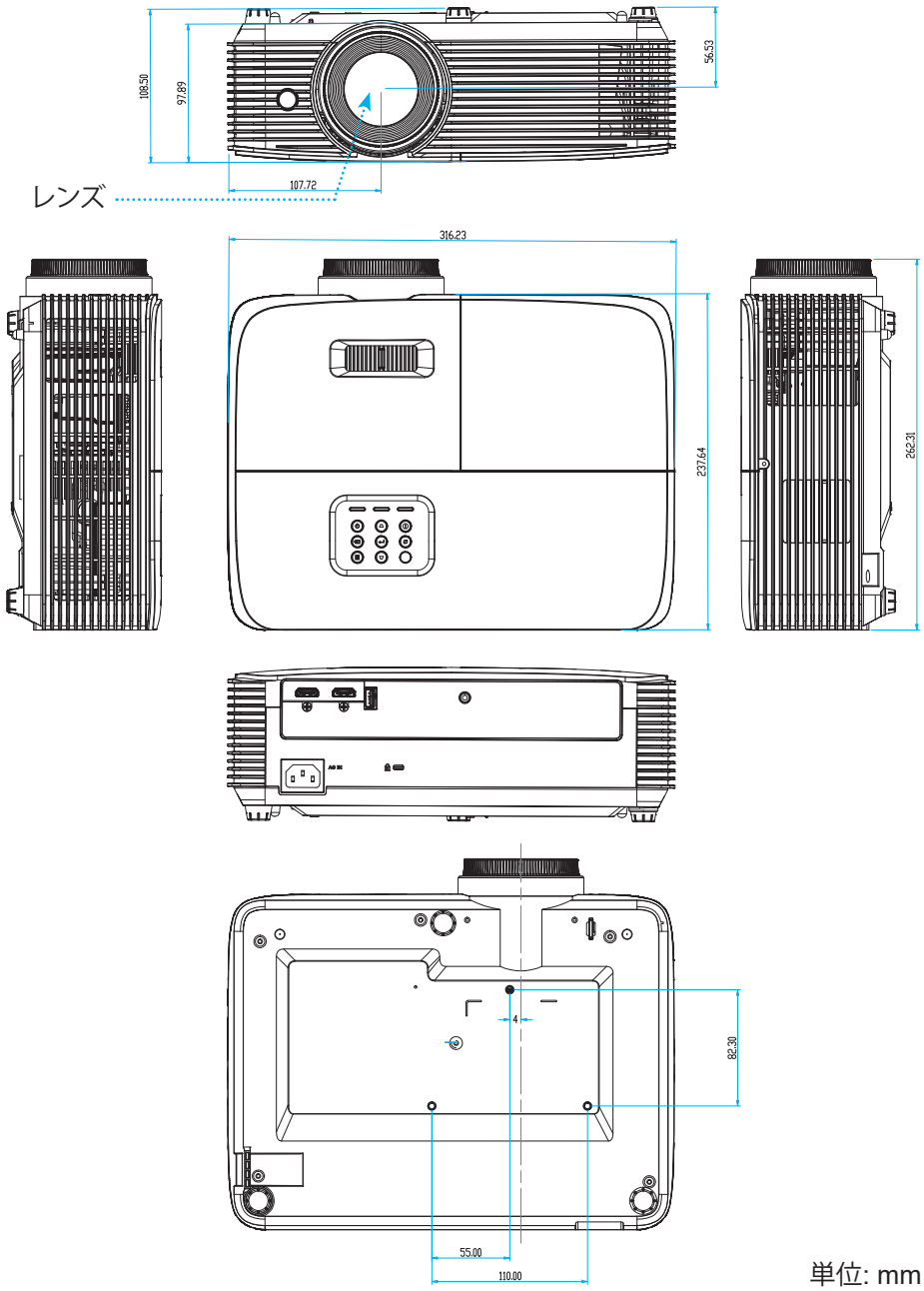


追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ネジの種類: M4*3
- 最小ネジ長: 10mm



単位: mm

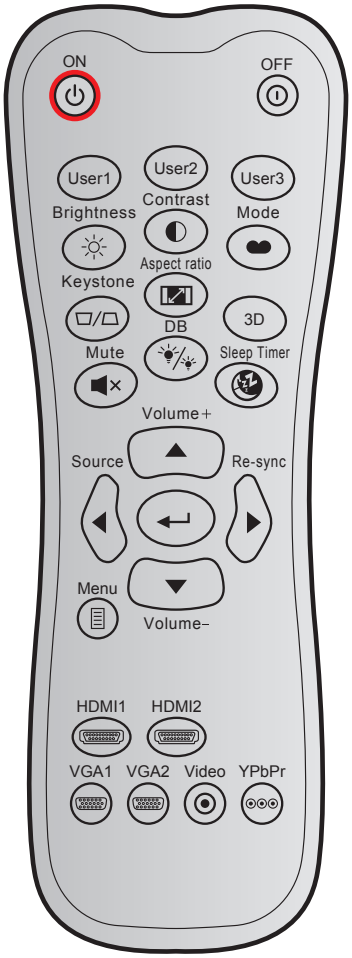
注記: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモコン 1 のコード



キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
パワーオン	⏻	32	CD	02	オン	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
電源オフ	⏻	32	CD	2E	オフ	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
ユーザー 1		32	CD	36	User1	ユーザー定義キー。設定については、*43* ページをご参照ください。
ユーザー 2		32	CD	65	User2	
ユーザー 3		32	CD	66	User3	
輝度	☼	32	CD	41	輝度	画像の輝度を調整します。
コントラスト	◐	32	CD	42	コントラスト	映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
ディスプレイモード	▬	32	CD	05	モード	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。*35* ページを参照してください。
キーストン	▱/▱	32	CD	07	キーストン	プロジェクタを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比	⛶	32	CD	64	アスペクト比	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。

追加情報

キー		カスタムコード		データコード	印刷キーの定義	説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3		
3D		32	CD	89	3D	3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。
ミュート		32	CD	52	ミュート	オーディオをミュートします。
DB		32	CD	44	ランプモード	輝度モードメニューを開きます。
スリープタイマー		32	CD	63	スリープタイマー	スリープタイマーメニューを開きます。
音量 +		32	CD	09	音量 +	調整して、音量を上げます。
4 方向キー		32	CD	11	▲	▲、◄、►、または ▼ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
		32	CD	10	◄	
		32	CD	12	►	
		32	CD	14	▼	
ソース		32	CD	18	ソース	「ソース」を押して、入力信号を選択します。
Enter キー		32	CD	0F		選択した項目を確定します。
再同期		32	CD	04	再同期	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
音量 -		32	CD	0C	音量 -	調整して、音量を下げます。
メニュー		32	CD	0E	メニュー	プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI 1		32	CD	16	HDMI1	[HDMI1] を押してHDMI 1コネクタからソースを選択します。
HDMI 2		32	CD	30	HDMI2	[HDMI2] を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
VGA 1		32	CD	1B	VGA1	機能なし
VGA 2		32	CD	1E	VGA2	機能なし
ビデオ		32	CD	1C	ビデオ	機能なし
YPbPr		32	CD	17	YPbPr	機能なし

追加情報

IR リモコン 2 のコード



キーの凡例		説明	キーコード
電源		押すとプロジェクタの電源がオン/オフになります。	81
フリーズ	Freeze	押すとプロジェクタの画像が一時停止します。	8B
アスペクト		これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。	98
AV 消音		押すとプロジェクターの内蔵スピーカーのオン/オフが切り替わります。	8A
キーストン +/上	Keystone+	• 押すと、プロジェクタを斜め方向から投影することで生じる画像のゆがみを調整します。 • 押すと上に移動します。	C6
ミュート		押すと一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。	92
左/Vol-	Vol–	• 押すと音量増の調整ができます。 • 押すと左に移動します。	C8
入力		選択した項目を確定します。	- C5 (OSD の場合) - CA (USB を経由する USB マウスのエミュレーションの場合)
右/Vol+	Vol+	• 押すと音量減の調整ができます。 • 押すと右に移動します。	C9
メニュー		押すとプロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。	88
下/キーストン -	Keystone–	• 押すと、プロジェクタを斜め方向から投影することで生じる画像のゆがみを調整します。 • 押すと下に移動します。	C7
3D	3D	押すと 3D コンテンツに一致する 3D モードを手動で選択できます。	93
HDMI	HDMI	押して HDMI ソースを選択します。	86
VGA	VGA	機能なし	8E

追加情報

キーの凡例		説明	キーコード
ビデオ		機能なし	CE
ソース		押して入力信号を選択します。	C3
ブライトネスモード		押すと、最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように画像の輝度を自動的に調整できます。	87
再同期		プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。	C4

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ランプが確実に取り付けられているか確認してください。[ランプの交換] を参照してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*60* ページを参照してください)。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16: 9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押し、「ディスプレイ-->アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから「ディスプレイ-->キーストン」を使用します。

画像が反転する

- OSDから [セットアップ-->設置モード] を選択し、投射方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、「3D」ボタンを押して「自動」にしてください。

追加情報

2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号が HDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「3D」ボタンを押して「サイド バイ サイド」に切り替えてください。

3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号が HDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) になっているとき、「3D」ボタンを押して「サイド バイ サイド」に切り替えてください。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±30° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

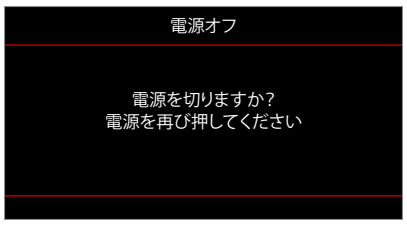
- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

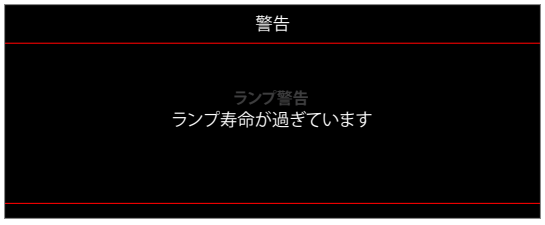
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED	オン/スタンバイ LED	温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン&ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。 冷却ファンがオフになると、 赤の点灯に戻ります。		
クイックレジューム (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ/ 0.25 秒オン)		
エラー（ランプトラブル）	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー （過熱）	点滅		点灯	

- 電源オフ:

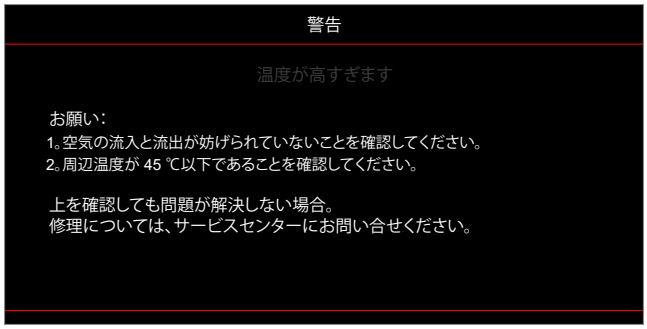


- ランプ警告:

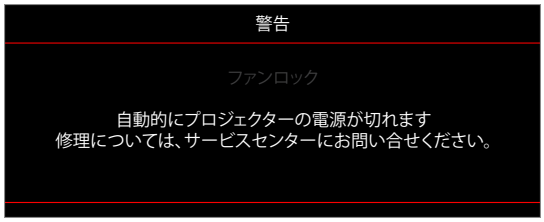


追加情報

- 温度警告:



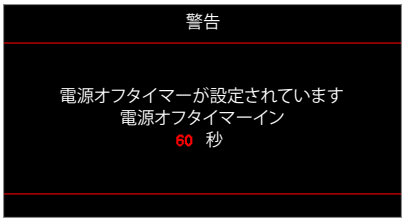
- ファンのトラブル:



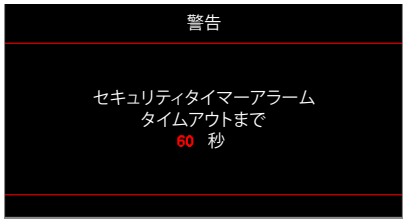
- 表示範囲外:



- 電源ダウン警告:



- セキュリティタイマーアラーム:



追加情報

仕様

項目	説明
技術	0.47 インチ 1080p TRP 2xLVDS DMD
パネル解像度	1920x1080
レンズ	手動ズームと手動フォーカス
オフセット	116% ±5%
画像サイズ	27 インチから 301 インチ (80 インチで最適)
投影距離	1m ～ 10m
I/O	• HDMI 2.0 (HDCP2.2) • HDMI 1.4 (HDCP2.2) • USB タイプ A (電源 USB/ 5V1.5A / サービス/ マウス用) • オーディオ出力 3.5mm • RJ-45 (Web コントロールおよび 10/100 Mbps の転送率をサポート)* **注記:** *(*) このコネクタは、タイプ 2 (5 I/O) モデルにのみ適用されます。*
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	• 水平スキャン速度: 15 ～ 140 KHz • 垂直スキャン速度: 24 ～ 120 Hz (3D 機能プロジェクターの場合 120Hz)
スピーカ	3W
消費電力	• ブライトネスモード: 100% - 標準 300W ±15% @ 110VAC BTU/hr: 1057±15% - 標準 290W ±15% @ 220VAC BTU/hr: 1023±15% • エコモード: 80% - 標準 215W ±15% @ 110VAC BTU/hr: 733±15% - 標準 210W ±15% @ 220VAC BTU/hr: 716±15%
入力電流	3.3A
取り付け方向	フロント、リア、天井、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	• 足を除く: 316 x 237.6 x 106 mm (12.44 x 9.35 x 4.17 インチ) • 足を含む: 316 x 237.6 x 108.5 mm (12.44 x 9.35 x 4.27 インチ)
重さ	2.88 kg (6.35 ポンド)
環境	5 ～ 40℃、85% 湿度 (最大、結露なし) で動作

注記: *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ
47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ
Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of.1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Germany
+49 (0) 2161 68643 0
+49 (0) 2161 68643 99
info@optoma.de

スカンディナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
ノルウェー

韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com
+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾
12F., No.213, Sec.3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw

中国
Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District,
Shanghai, 200052, China
www.optoma.com.cn
+86-21-62947376
+86-21-62947375
servicecn@optoma.com.cn